

発行者	森 田 康 昭
編集者	泉 秀 明
発行所	連合熊本地域協議会 熊本地区労働者福祉協議会
〒862-0976	熊本市中央区九品寺1丁目17-9
TEL 096-375-3015	FAX 096-375-3016

連合熊本地協情報

一隅を照らす灯りとして

構成組織及び傘下組合員の皆様、『参議院選挙の取り組み』大変ありがとうございました！
===連合熊本地域協議会・熊本地区労働者福祉協議会===

6月20日(金) 熊本地区労福協 第50回 定期総会開催さる！

今年は国連が定めた、2012年に続き2回目の『2025国際共同組合年』です。

「国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加出来る社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と共同組合の振興のために、2025年を国際共同組合年(International Year of Cooperatives: IYC)」に定めました。」

このようなコンセプトで、活動を継続して取り組みます！熊本地区労働者福祉協議会

熊本地区労福協第50回定期総会

熊本地区労働者福祉協議会(会長：天野寿久)は、去る6月20日第50回定期総会を熊本県労館で開催しました。

白神副会長が、開会挨拶から議長選出までを担当しました。総会議長に桑机代議員(電力総連)を選出し、以降の進行をお願いしました。

来賓として、県労福協より友田理事長、熊本地協より森田議長、九州労働金庫熊本県本部より峯本部長、ユニオントラベル熊本より青木理事長、熊本地区労福協指定店会より岩井会長、連合熊本推薦議員団より岩田県議、西県議、村上市議が出席され、代表して友田理事長、森田議長、峯本部長よりご挨拶をいただきました。

その後泉事務局長より、2024年度活動報告、決算報告、中村会計監査より会計監査報告を行い、その後2025年度活動方針案、予算案、役員体制案を提案し全会一致で承認されました。最後に稲本副会長の閉会挨拶で総会は終了しました。



天野会長(主催者挨拶)



友田理事長(挨拶)



峯本部長(挨拶)



泉事務局長(報告・提案)



桑机新副会長



森田議長(挨拶)



白神副会長(開会挨拶)



中村会計監査(報告)



古賀新幹事

◆本号では、標題の背景色にウクライナの国旗(上部又は右青・下部又は左黄色)の色を使用しています。

▼随時掲載
特攻の
若き血潮が
花と散る
思いを受けた
我らの責務

◆戦後80年1945(昭和20)年：NHKニュースより：元少年飛行兵 97歳が会見 戦友への思いや平和の尊さを語る。(2025年7月8日)戦後80年となり戦地に赴いた人が少なくなる中、元少年飛行兵の97歳の男性が8日、都内で会見し、特攻作戦によって命を落とした戦友たちへの思いや平和の尊さを語りました。→P2へ

学習! 交流 活動の悩み? **全国の政令市の仲間と集う!** 情報交換 意見交換 役員としての悩み?

🌀 **第28回連合政令指定都市地域協議会連絡会に参加しました**

開催：2025年6月4日（水）～5日（木） 場所：ホテルロイヤルクラシック大阪（大阪市中央区難波）

🌀連合熊本地域協議会（議長：森田康昭）は、大阪で開催された表記第28回連合政令指定都市地域協議会連絡会に参加しました。全国政令市指定都市地協から、合計162名が参加しました。熊本地協からは、森田議長（自治労県職）、柿田副議長（J P労組）、横林幹事（J R連合）、泉事務局長（J P労組）が参加しました。

🌀6月4日の会議では、大阪市地協藤本議長が開催地協を代表して挨拶し、来賓として連合大阪田中会長、大阪市から西山副市長より挨拶がありました。

🌀基調講演として、京都大学大学院法学研究科曾我部教授より「インターネット上の人権」と題して大阪市における多様性推進と人権の取組みについて講演がありました。

🌀地協報告では、神戸市地協、さいたま市地協からそれぞれ報告がありました。

🌀国会情勢報告として尾辻かな子衆議院議員議員より、「ダイバーシティ推進の政策実現に向けて」と題し、多様な人権尊重のためのジェンダー平等社会の実現に向けた講演がありました。全国の政令市地協の仲間との意見交換や交流で、新たな情報や取り組みを学びました。また、万博開催時でもあり、開催地協の案内で万博会場に足を運ぶことができました。

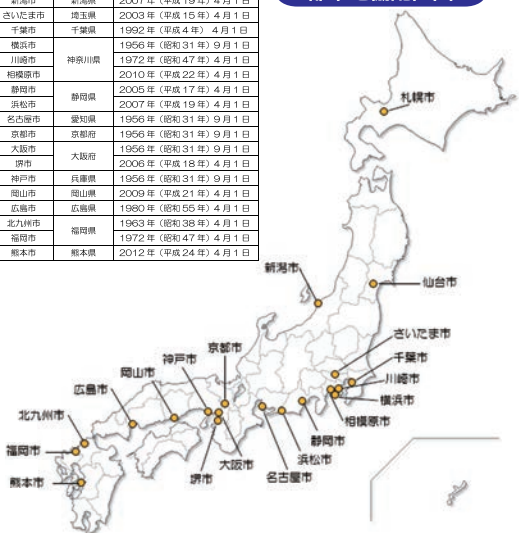


万博会場は、多くの興味をそそるものばかりでした。



指定都市	新指定市	指定日
1 札幌市	北海道	1972年（昭和47年）4月1日
2 仙台市	宮城県	1989年（平成元年）4月1日
3 新潟市	新潟県	2007年（平成19年）4月1日
4 さいたま市	埼玉県	2003年（平成15年）4月1日
5 千葉市	千葉県	1992年（平成4年）4月1日
6 横浜市	神奈川県	1956年（昭和31年）9月1日
7 川崎市	神奈川県	1972年（昭和47年）4月1日
8 相模原市	神奈川県	2010年（平成22年）4月1日
9 静岡市	静岡県	2005年（平成17年）4月1日
10 京都市	京都府	2007年（平成19年）4月1日
11 名古屋市	愛知県	1956年（昭和31年）9月1日
12 大阪市	大阪府	1956年（昭和31年）9月1日
13 堺市	大阪府	2006年（平成18年）4月1日
14 神戸市	兵庫県	1956年（昭和31年）9月1日
15 岡山市	岡山県	2009年（平成21年）4月1日
16 広島市	広島県	1963年（昭和38年）4月1日
17 北九州市	福岡県	1972年（昭和47年）4月1日
18 福岡市	福岡県	1972年（昭和47年）4月1日
19 熊本市	熊本県	2012年（平成24年）4月1日

全国の政令指定都市地協配置図



会議前の参加者（右から森田議長・柿田副議長・泉事務局長・横林幹事）

“全国一斉集中労働相談ホットライン”

世の中のしくみ・法律を知っているとホントは悩まなくてもいいことがある！！



案内ビラ・ティッシュ配布しました！
「～仕事で

悩むあなたを

6月10日（火）～11日（水）

応援（サポート）します！～」を実施！

⑧連合熊本地域協議会（議長：森田康昭）は、標記取り組みに向けたビラ・ティッシュ配布行動を熊本市内下通一帯で行いました。

⑨参加者は、暑い中それぞれの持ち場に分散、道行く人たちに趣旨を伝えながらビラ・ティッシュ配布を取り組みました。



参加のみなさん



つくろう！いろいろ！
労働組合！
安心して働くために…みんなで力を合わせて職場を改善！

こんなとき、労働組合があれば…

- 職場の声を反映！
労働条件が向上！
賃金、労働時間、休日、残業時間などについて、労働組合が職場の声を反映した要求を出し、会社と対等に話し合ってもらえます。
- 職場の問題を共有！
職場の環境が改善！
職場の意見や課題を会社に伝え、職場全体の問題として会社と話し合うので、性別・雇用形態・年齢に関わらず職場の風通しが良くなり、みんなが働きがいをもって働けるようになります。
- 泣き寝入りしない！
雇用が安定！
労働組合の最も重要な役割は「雇用を守ること」。不当な解雇に泣き寝入りすることはありません。いざというときには労働組合が会社と交渉し、雇用と生活を守ります。

連合オンライン（Zoom）組合づくり相談のお知らせ

2025年6月9日（火）～14日（土）
10:00～20:00（最終開始時間19:00）
6月6日（土）17:00まで

※1件につき1回限りの相談です
※事前申込による完全予約制です

オンライン組合づくり相談

QRコード

連合熊本
労働組合づくり

まずは連合にご相談を！
フリーダイヤル 0120-154-052
相談無料 秘密厳守 返答迅速 OK

労働組合のつくり方は
こちらをご覧ください

実施期日：6/23（月）24（火）

連合2025平和行動inオキナワ

思改十戦
うめ年後
てにハ

6月23日：沖縄県ではこの日を「慰霊の日」と定めています。沖縄での組織的な戦闘（抵抗）が終わった日です。しかし、その後も戦闘は続き8月6日広島、8月9日長崎への原爆攻撃があり同月15日終戦の日を迎えました。現在のウクライナ・ガザ地区での悲惨な戦争以上の犠牲がもたらされています。

⑩連合熊本地域協議会（議長：森田康昭）は、沖縄「慰霊の日」である6月23日から24日にかけて開催された「連合2025平和行動in沖縄」へ構成組織の皆さんに参加していただきました。

連合2025平和行動inオキナワ 平和オキナワ集会

1日目

【会場】那覇文化芸術劇場なはーと

【内容】14:40～オープニング（エイサー演舞）

15:00～第1部 基調講演

「新たな安全保障をめざして！」

講師 屋良 朝博氏

16:15～第2部 平和式典

(1) 黙祷 (2) 主催者挨拶（本部）

(3) 地元挨拶（連合沖縄）

(4) 来賓挨拶 (5) 来賓紹介

(6) ピースリレー（沖縄から広島へ）

(7) 平和アピール（連合沖縄）

2日目

ピースフィールドワーク（戦跡コース）

8:00 県民広場出発⇒嘉数高台⇒

旧海軍司令部豪⇒ひめゆりの塔⇒

平和祈念公園⇒魂魄の塔⇒沖縄県庁前

参加構成組織：自動車総連・電力総連・熊本教育ユニオン・JAM・国公連合・紙バ連合・天草宇城上益城地協・青年委員会・女性委員会・人吉球磨地協・連合熊本



平和オキナワ集会



会場参加者



平和の礎



ピースフィールドワーク



嘉数高台にて



米軍による防空壕に火炎放射器
《中は地獄絵図》（沖縄県公文書館）
コメントは編集局

また、同じ戦隊にいた多くの少年飛行兵たちが特攻を志願して命を落としたことを語り「私たちは子どもの時から国家のために尽くすことを言われ続けたので、国のために死ぬのが務めであり、死についても普通のことだ」という感情を持っていた。戦友たちの供養は今も忘れずに続けているが、彼らが私を今も生かしてくれているのではないかと話していました。⇒P4

